

令和5年度 学校評価集計

(1) 学校評価の結果報告（成果と今後の課題）

○ 本校全職員	P 1 ~ 3
○ グラフ	P 4
<hr/>	
○ 幼稚部職員	P 5 ~ 7
○ 幼稚部保護者	P 8
○ グラフ	P 9
<hr/>	
○ 小学部職員	P 10 ~ 12
○ 小学部保護者・小学部児童（5年以上）	P 13 ~ 14
○ グラフ	P 15
<hr/>	
○ 中学部職員	P 16 ~ 18
○ 中学部保護者・中学部生徒	P 19 ~ 20
○ グラフ	P 21
<hr/>	
○ 高等部職員	P 22 ~ 24
○ 高等部保護者・高等部生徒	P 25 ~ 26
○ グラフ	P 27
<hr/>	
○ 分教室職員	P 28 ~ 30
○ 分教室保護者・児童・生徒	P 31 ~ 32
○ グラフ	P 33
<hr/>	
○ 寄宿舍	P 34 ~ 35
○ グラフ	P 36
<hr/>	
○ 事務室	P 37
○ グラフ	P 38
<hr/>	

(2) 実施期間

令和5年11月24日（金）～12月15日（金）

対象：教職員、児童生徒（小学部5年以上）、保護者

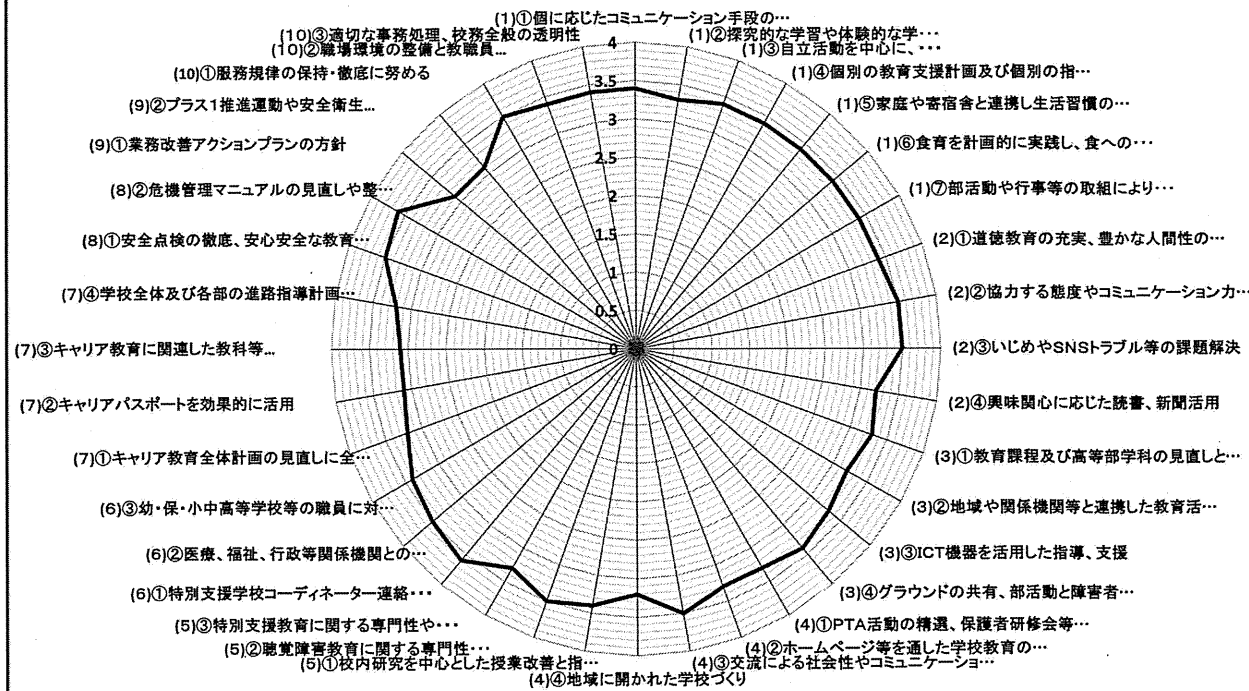
令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(本校・分教室全)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から 高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立 し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
(1)確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	45 53 2 0	○
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	31 67 2 0	○
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	42 58 0 0	○
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	41 59 0 0	○
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	36 64 0 0	○
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	39 61 0 0	○
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	42 58 0 0	○
(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	43 50 7 0	○
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	47 53 0 0	○
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.5)	4 3 2 1	53 47 0 0	○
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	21 76 3 0	○
(3)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善			
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程及び高等部学科の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4 3 2 1	33 67 0 0	○

②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.2)	4	22		○
	3	75		
	2	3		
	1	0		
③個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.3)	4	30		○
	3	67		
	2	3		
	1	0		
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.3)	4	36		○
	3	63		
	2	2		
	1	0		
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.3)	4	32		○
	3	63		
	2	3		
	1	2		
③居住地域や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.5)	4	49		○
	3	51		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.2)	4	22		○
	3	75		
	2	2		
	1	2		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	55		
	2	2		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.3)	4	31		○
	3	66		
	2	3		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.6)	4	56		○
	3	44		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.5)	4	48		○
	3	52		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小・中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組む、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	44		○
	3	56		
	2	0		
	1	0		
(7)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.2)	4	22		○
	3	78		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.1)	4	13	全校的に、各行事等の振り返りや各学期の反省などは行っているが、キャリアパスポートの活用が不十分である。今後、キャリア支援部と連携しながら全校的にキャリアパスポートの活用を進める必要がある。	△
	3	83		
	2	3		
	1	2		
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.1)	4	14	キャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や改善につなげる具体的な方策が必要である。キャリア支援部や教務部等と連携を取りながら検討していきたい。	△
	3	83		
	2	3		
	1	0		
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.2)	4	22		○
	3	78		
	2	0		
	1	0		

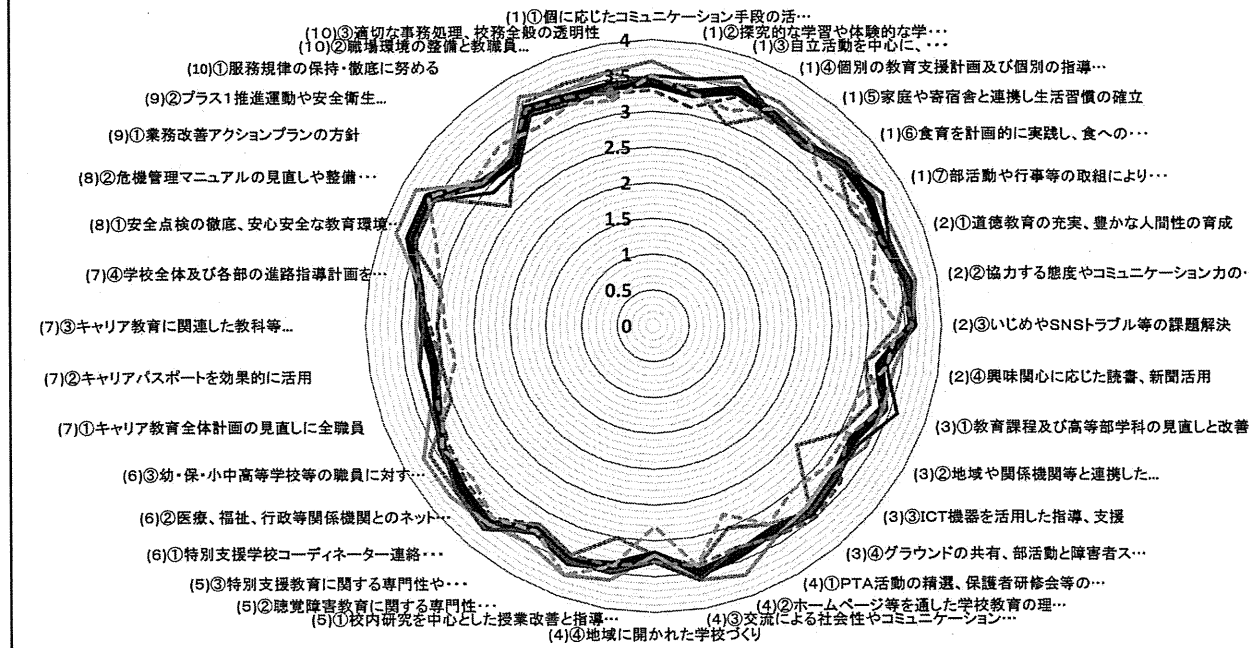
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.5)	4	48		○
	3	52		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.1)	4	19	日々の教育活動や行事等の準備などしなければならないことが多く、業務改善のための対応策が具体的に進んでいない現状がある。部単位で、些細なことから改善に向けて取り組むことはもちろん、その年に重点的に取り組む課題を全体で決めて取り組むことも必要と考える。	△
	3	73		
	2	8		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.1)	4	16	プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革の推進についても、全体や学部単位で、具体的に検討を重ね、働き方改革を進める必要がある。	△
	3	76		
	2	8		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.5)	4	48		○
	3	52		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.4)	4	38		○
	3	63		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.4)	4	38		○
	3	61		
	2	2		
	1	0		

本校・分教室全



総括

— 全校平均 — 幼稚部 — 小学部 — 中学部 ● 高等部 --- 分教室



令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(幼稚部)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全体的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、幼児一人一人に応じたコミュニケーション手段を積極的に使いながら、生活言語の習得・拡充を図り、直接的・具体的な体験を通して豊かな感性と心身の調和的発達を促し、人間形成の基礎を培う。 ②一人一人の個性を伸ばし、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③保護者や関係機関との連携により、聴覚障害幼児の理解を深め、効果的に教育活動を展開する。 ④授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力の向上と教職員間の共通理解を図る。 ⑤乳・幼児を中心とした早期からの教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥安全点検や校内美化活動を行い、施設設備の整備と教育環境の充実を図る。 ⑦働きやすい職場環境づくりに努める。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1)確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。今後も自立活動学習会の際に、幼児の実態把握を全職員で行ったり個別の指導計画を見合ったりして、多面的な視点で捉え指導に生かせるようにしていく。 △
	3	100	
	2	0	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.2)	4	20	○
	3	80	
	2	0	
	1	0	
(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.6)	4	60	○
	3	40	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。幼児の発達段階を考えると新聞の活用は難しいが、季節の事柄や興味関心を基にした絵本の読み聞かせを引き続き行っていく。 △
	3	100	
	2	0	
	1	0	

(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程及び高等部学科の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.2)	4	20		○
	3	80		
	2	0		
	1	0		
②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.0)	4	20	地域や関係機関との連携では、近隣の保育園との交流や地域の果樹園で「みかん狩り」を行った。さらに良い教育活動ができるように改善点を出し合い次年度へ生かしたい。	△
	3	60		
	2	20		
	1	0		
③個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 2.6)	4	0	幼稚園においては、実体験や実物や写真などを介しての言葉の獲得が求められていることから、ICT機器については、写真や動画を振り返りの際に活用している程度である。他校の幼稚園での取組について情報を収集し、今後参考にしていきたい。	△
	3	60		
	2	40		
	1	0		
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
(4) 関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.2)	4	40		○
	3	40		
	2	20		
	1	0		
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。幼稚園の行事が終わると写真を添えてホームページに掲載するようにしている。今後も児童の活動の様子や学びの過程を発信していく。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.2)	4	20		○
	3	80		
	2	0		
	1	0		
(5) 教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.0)	4	20	校内研究の一環として、今年度は、どの学級も研究授業を行った。講師に指導をいただき、授業改善の視点となる事柄を共通理解できたので、日々の指導に生かし、指導の充実に努めたい。	△
	3	60		
	2	20		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.2)	4	20		○
	3	80		
	2	0		
	1	0		
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組む、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
(7) キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。過去に作成している「キャリア教育全体計画(幼稚園)」から、年齢ごとの重点目標について確認をしたが、見直しについてはまだ行っていない。全校での取組と足並みをそろえていきたい。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。幼稚園には「キャリアパスポート」はないが、就学に関する保護者からの相談や情報提供はその都度行っている。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		

③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。校外学習や集団活動の実施計画を作成する際には、「キャリア教育全体計画」の「基礎的・汎用的能力」の項目を選択し、明記するようにしている。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。「キャリア教育全体計画」から目標や身に付けさせたい力を全職員で確認をしたので、今後もキャリア発達の視点を念頭に指導を行っていきたい。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 2.6)	4	0	業務改善のための課題に対して、改善や対処法など、具体的に取り組むことはできていない。業務の効率化について考え、実践していきたいが、多忙感は否めない。	△
	3	60		
	2	40		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が、「3 おおむね達成している」と評価している。安全衛生委員会の取組で、体づくり講座や職員体育を実施できたことは良かったが、働き方改革として、会議時間の短縮や退勤時間の徹底など職員間で声を掛け合っていきたい。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.6)	4	60		○
	3	40		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		

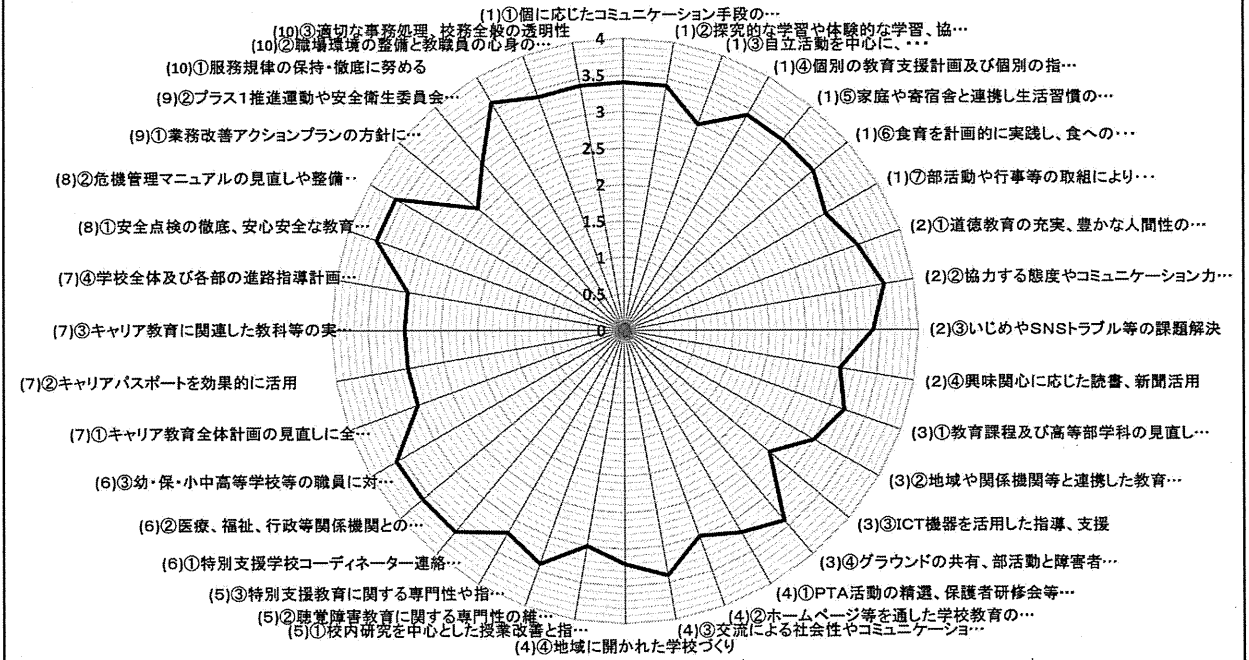
令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 5人/6人 回収率 83%

(幼 稚) 部

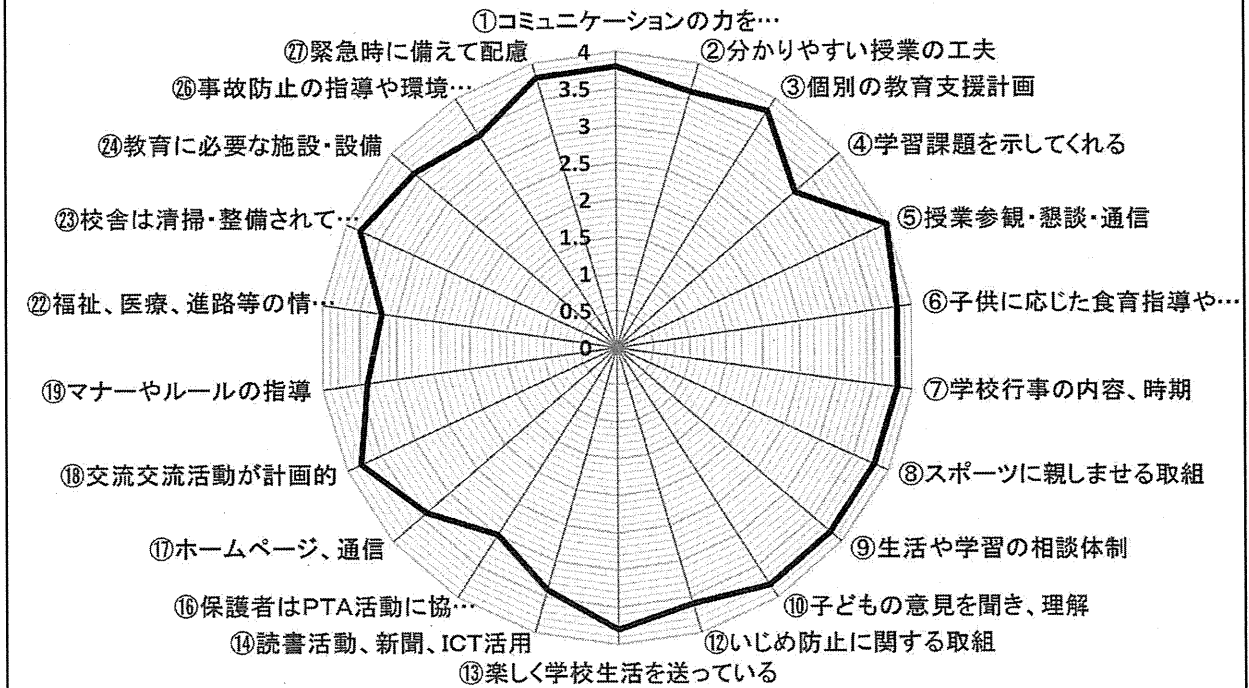
評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評 価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
確かな学力と生きる力の育成							
1	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	80%	20%			3.8	◎
2	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	60%	40%			3.6	○
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子供のニーズに合っている。	80%	20%			3.8	◎
4	◇子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	40%	40%	20%		3.2	○
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0	◎
6	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	80%	20%			3.8	◎
7	◇学校行事は、子供の実態に応じた内容で、時期は適切である。	80%	20%			3.8	◎
8	◇部活動や体育、昼休みなどの時間を通して、スポーツに親しませる取組をしている。	80%	20%			3.8	◎
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり							
9	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	80%	20%			3.8	◎
10	◇教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	80%	20%			3.8	◎
11	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	60%	40%			3.6	○
13	◇子供は楽しく学校生活を送っている。	80%	20%			3.8	◎
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子供の興味関心を広げる工夫がなされている。	60%	20%	20%		3.4	○
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善							
15	◇タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。 (小・中学・高等部保護者記入)	/	/	/	/	/	/
関係機関や地域・保護者との連携強化							
16	◇保護者はPTA活動に協力的である。	20%	60%	20%		3.0	△
17	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	60%	20%	20%		3.4	○
18	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	80%	20%			3.8	◎
キャリア教育の充実							
19	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	60%	20%	20%		3.4	○
20	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
21	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
22	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	40%	40%	20%		3.2	○
施設・設備の整備と教育環境の充実							
23	◇校舎はよく清掃・整備されている。	80%	20%			3.8	◎
24	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	80%		20%		3.6	○
25	◇寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。 (舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
26	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	40%	60%			3.4	○
27	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	80%	20%			3.8	◎
【自由記述】 特になし							
【成果と今後の課題】 「16 保護者はPTA活動に協力的である」の項目が、昨年度同様、3.2を下回る低い評価点でした。PTA活動については、共働きの家庭がほとんどの中、定期的に幼稚部の行事等に参加されるため、学校全体のPTA活動への参加は難しかったのではと思いました。しかし、今後も無理のない範囲で参加を呼び掛けていきます。							

幼稚部職員



幼稚部保護者



令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(小学部)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に関わり信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。
学部努力目標	①一人一人の児童の実態に応じた指導の充実に努め、聴覚活用の力を最大限に伸ばし、確かな日本語の習得と学力向上を目指すとともに、コミュニケーション力を高め、生きる力の基礎を培う。 ②人権教育や道徳教育を推進し、一人一人の個性の伸長と豊かな人間性の育成に努める。 ③保護者や関係機関との連携により、聴覚障害児童の理解を深め、効果的・効率的に教育活動を展開する。 ④授業研究や専門性の研修を行い、個々の教師の指導力と教職員間の協働体制を高める。 ⑤児童を中心とした教育相談・支援機能の充実に努め、聴覚障害教育のセンター的機能としての役割を果たす。 ⑥個々の児童のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導を行う。

4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない

目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
--------------	----	------	-----------	------------------------

(1) 確かな学力と生きる力の育成

①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		

(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり

①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.4)	4	45		○
	3	45		
	2	9		
	1	0		

(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程及び高等部学科の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
③個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.2)	4	33	ICT機器の活用については、授業に生かす場面も増えてきているが、十分活用できていないと感じている職員もいる。研修で学んだことを生かすとともに、職員間でもどのような活用をしているのか情報交換を行っていききたい。また、現在、ICT機器を家庭に持ち帰ることを積極的に進めていないので、今後小学部の中で検討していきたい。	△
	3	50		
	2	17		
	1	0		
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
(4) 関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		
(5) 教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
(7) キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		

③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.8)	4	75		◎
	3	25		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.1)	4	17	日々の教材研究や担任業務などしなければならないことが多く、業務改善のための課題に対して、取り組めていない現状にある。学部の中で、些細なことからもできることを出し合って改善していきたい。	△
	3	75		
	2	8		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.1)	4	17	安全衛生委員会の取組で、体づくり講座や職員体育を実施できたことは良かったが、働き方改革として、会議時間の短縮や退勤時間の徹底など学部の職員間で声を掛け合っていたい。	△
	3	75		
	2	8		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		

令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 10人/13人 回収率 77%

(小学)部

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
 4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容	評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
	4	3	2	1		
確かな学力と生きる力の育成						
1	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	80%	10%	10%		3.7 ◎
2	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	80%	20%			3.8 ◎
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子供のニーズに合っている。	80%	20%			3.8 ◎
4	◇子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	80%	10%		10%	3.6 ○
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	80%	20%			3.8 ◎
6	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	80%	10%	10%		3.7 ◎
7	◇学校行事は、子供の実態に応じた内容で、時期は適切である。	80%		10%	10%	3.5 △
8	◇部活動や体育、昼休みなどの時間を通して、スポーツに親しませる取組をしている。	70%	20%	10%		3.6 ○
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり						
9	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	80%	10%	10%		3.7 ◎
10	◇教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	90%	10%			3.9 ◎
11	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0 ◎
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	80%	20%			3.8 ◎
13	◇子供は楽しく学校生活を送っている。	80%	20%			3.8 ◎
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子供の興味関心を広げる工夫がなされている。	90%	10%			3.9 ◎
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善						
15	◇タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。 (小・中学・高等部保護者記入)	67%	33%			3.7 ◎
関係機関や地域・保護者との連携強化						
16	◇保護者はPTA活動に協力的である。	40%	50%	10%		3.3 ○
17	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	80%	20%			3.8 ◎
18	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	80%	10%	10%		3.7 ◎
キャリア教育の充実						
19	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	90%	10%			3.9 ◎
20	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)					
21	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	100%				4.0 ◎
22	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	90%		10%		3.8 ◎
施設・設備の整備と教育環境の充実						
23	◇校舎はよく清掃・整備されている。	80%	20%			3.8 ◎
24	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	90%	10%			3.9 ◎
25	◇寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。 (舎生保護者のみ記入)	100%				4.0 ◎
26	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	80%	20%			3.8 ◎
27	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	70%	30%			3.7 ◎

【自由記述】

・楽しんで学校に通っています。ありがとうございます。

【成果と今後の課題】

「7 学校行事は、子供の実態に応じた内容で、時期は適切である。」は、評価点が3.5ですが、評価の1と2をつけた方が1名ずついました。学校行事を通して子供たちは力を付けることが多く、また子供たち自身も楽しみにしていますが、内容や時期について負荷があると感じている保護者がいらっしゃるように思います。行事を計画する際には、活動に無理がないか学部で確認したり検討したりしていきます。

令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 5人 / 5人 回収率 100%

(小学)部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができる。	40%	40%	20%		3.2	○
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	60%	20%	20%		3.4	○
3	授業内容が分かり、楽しく学習している。	40%	40%	20%		3.2	○
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	60%	20%	20%		3.4	○
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	20%	60%	20%		3.0	△
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	40%	20%	40%		3.0	△
7	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	60%	40%			3.6	○
8	部活動や体育、昼休みの時間などに体を動かしている。	60%	20%	20%		3.4	○
9	先生は、私の良いところをほめてくれる。	40%	40%	20%		3.2	○
10	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	40%	20%	40%		3.0	△
11	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	60%	40%			3.6	○
12	自分から進んであいさつをしている。	40%	60%			3.4	○
13	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ記入)	/	/	/	/	/	/
14	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	60%		40%		3.2	○
15	学校には仲の良い友達がいる楽しく生活している。	60%	20%	20%		3.4	○
16	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	60%	20%	20%		3.4	○
17	先生は、パソコンやタブレットパソコンを使って教えてくれる。	40%	40%	20%		3.2	○
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	40%	40%	20%		3.2	○
19	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。(高等部のみ記入)	/	/	/	/	/	/
20	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	40%	40%	20%		3.2	
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	60%	20%	20%		3.4	○
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	40%	40%	20%		3.2	○
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	60%		40%		3.2	△
24	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	/	/	/	/	/	/
25	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	60%	40%			3.6	○

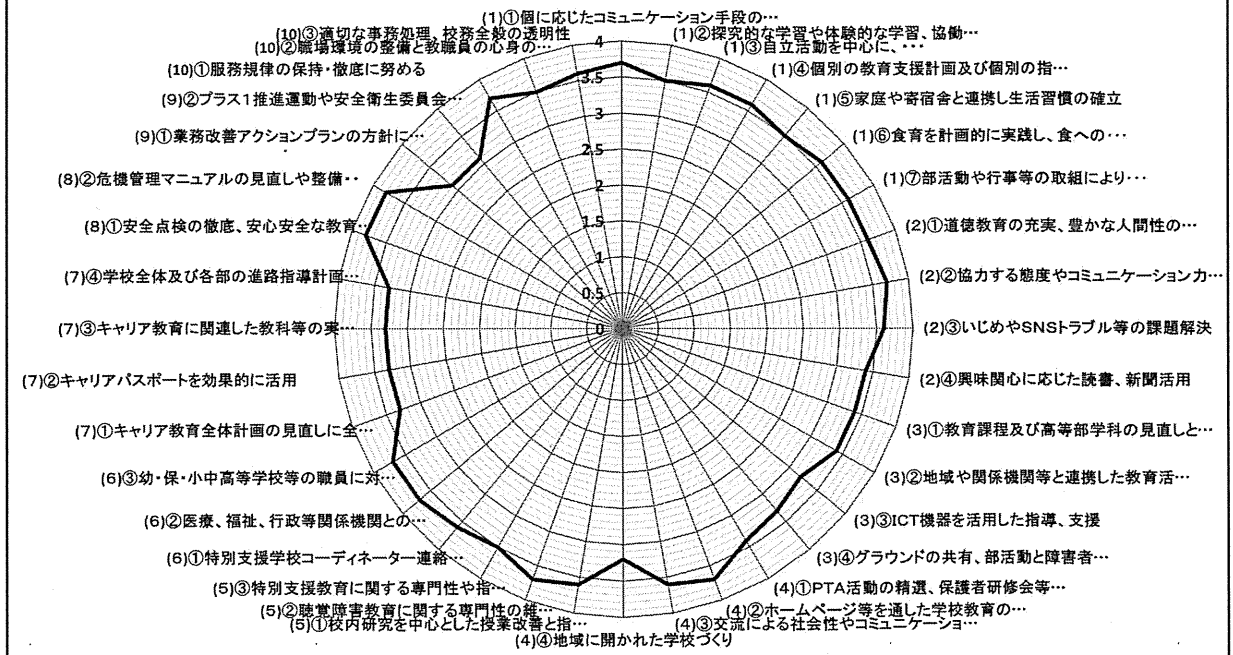
【自由記述】

・友達と仲良くしながら遊ぶ。

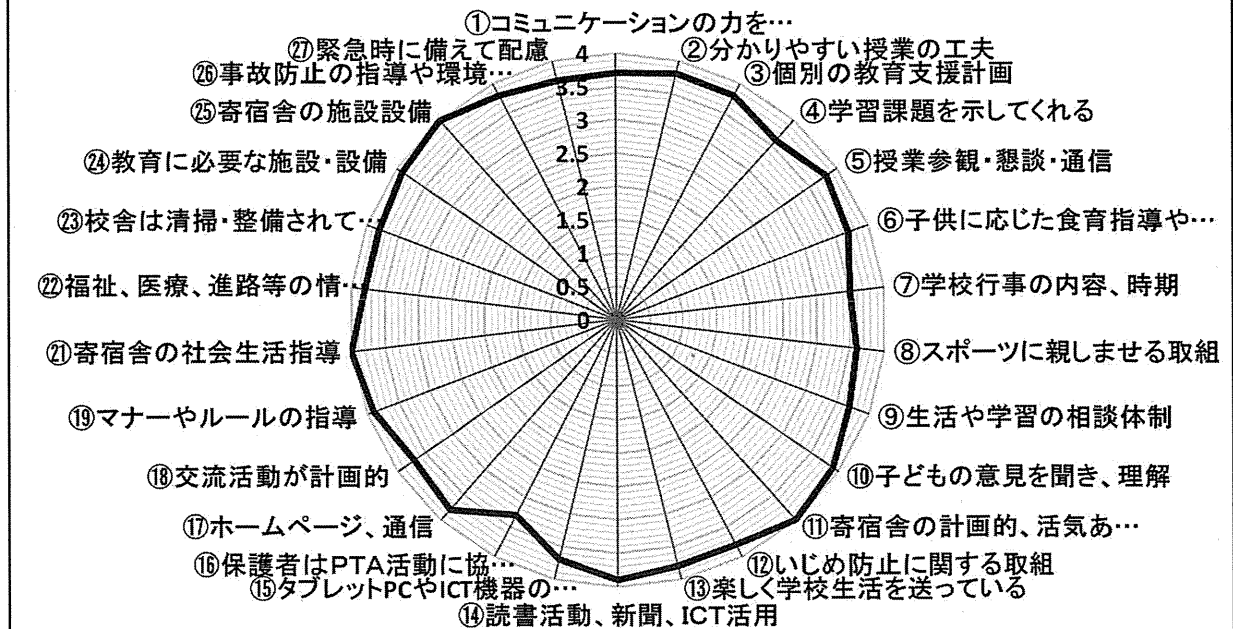
【成果と今後の課題】

「5 先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。」「6 家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。」については、評価点が3.0でした。学習の対して分かるようになりたいという児童の気持ちが垣間見えたので、学部で学習支援について改めて検討していきます。「10 困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。」も同じく3.0の評価点でした。「学校生活アンケート」の結果を見ると「学校生活は楽しい、わりと楽しい」で100%であったことから、悩んだことを先生に伝える経験がなかったことも一因なのではと思いました。合わせて「14 まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。」が3.2の評価点だったので、児童の様子の変化に気付いたり、児童の気持ちに寄り添った支援ができるよう学部全体で引き続き気を配っていききたいと思います。「23 校内には、危険な場所がなく安全である。」の評価点も3.2でした。校内の安全点検を毎月行っていますが、職員が気付いていない箇所があるのかもしれない。児童が危険と感じている場所を担任を通して尋ね、改善に取り組んでいきます。

小学部職員



小学部保護者



令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(中学部)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	①言語力と学力を高めるとともに、生徒一人一人が社会自立、職業自立を目指し、主体的に自己実現を図っていく能力や態度を育てる。 ②聴覚活用を基本に生徒一人一人の実態に応じたコミュニケーション手段を活用しながら、言語力の拡充を図る。 ③保護者や関係機関との連携を深め、関係者からの意見を学部経営に生かす。 ④授業研究や専門性を高める研修を行い、指導力の向上を図る。 ⑤小・中学生を中心とした教育相談・支援機能の充実に努め、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥施設・設備の整備を進めると共に、教育環境の充実に努める。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1) 確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.7)	4	67	
	3	33	
	2	0	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.7)	4	67	
	3	33	
	2	0	
	1	0	
(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.5)	4	58	児童生徒に何かあった場合、場合によっては管理職から保護者に連絡を取るといった対応を取っていききたい。
	3	33	
	2	8	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.6)	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	58	生徒について、学部会などでの早めの段階での情報交換を行っていききたい。
	3	42	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	58	
	2	8	
	1	0	

(3)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善			
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程及び高等部学科の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.6)	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
③個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化			
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.6)	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
(5)教職員の専門性及び指導力の向上			
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.5)	4	50	校内研究の研究授業は、早めに検討し、職員が見通しをもてるように計画していきたい。
	3	50	
	2	0	
	1	0	
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実			
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.7)	4	67	
	3	33	
	2	0	
	1	0	
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.6)	4	58	
	3	42	
	2	0	
	1	0	
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組む、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
(7)キャリア教育の充実			
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	

③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.2)	4	17	
	3	83	
	2	0	
	1	0	
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.3)	4	25	
	3	75	
	2	0	
	1	0	
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.5)	4	50	
	3	50	
	2	0	
	1	0	
(9)働き方改革の推進			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 2.9)	4	17	分掌主任は、各学部の負担を考慮しながら、バランスを考えて決めていきたい。
	3	58	
	2	25	
	1	0	
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心とした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 2.9)	4	17	働き方改革の推進については、実際に職員が実感できるような取組を行っていきたい。
	3	58	
	2	25	
	1	0	
(10)コンプライアンスの徹底			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.4)	4	42	
	3	58	
	2	0	
	1	0	
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	33	
	3	67	
	2	0	
	1	0	
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.4)	4	50	
	3	42	
	2	8	
	1	0	

令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 7人/8人 回収率 88%

(中 学) 部

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容	評 価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
	4	3	2	1		
確かな学力と生きる力の育成						
1 ◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	100%				4.0	◎
2 ◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	83%	17%			3.8	◎
3 ◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子供のニーズに合っている。	83%	17%			3.8	◎
4 ◇子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	100%				4.0	◎
5 ◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0	◎
6 ◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	86%	14%			3.9	◎
7 ◇学校行事は、子供の実態に応じた内容で、時期は適切である。	83%	17%			3.8	◎
8 ◇部活動や体育、昼休みなどの時間を通して、スポーツに親しませる取組をしている。	100%				4.0	◎
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり						
9 ◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	83%	17%			3.8	◎
10 ◇教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	83%	17%			3.8	◎
11 ◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。(舎生保護者のみ記入)	80%	20%			3.8	◎
12 ◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	86%	14%			3.9	◎
13 ◇子供は楽しく学校生活を送っている。	86%	14%			3.9	◎
14 ◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子供の興味関心を広げる工夫がなされている。	100%				4.0	◎
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善						
15 ◇タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。(小・中学・高等部保護者記入)	63%	33%			3.7	◎
関係機関や地域・保護者との連携強化						
16 ◇保護者はPTA活動に協力的である。	33%	33%	33%		3.0	△
17 ◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	83%	17%			3.8	◎
18 ◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	83%	17%			3.8	◎
キャリア教育の充実						
19 ◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	83%	17%			3.8	◎
20 ◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)						
21 ◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	80%	20%			3.8	◎
22 ◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	33%	67%			3.3	○
施設・設備の整備と教育環境の充実						
23 ◇校舎はよく清掃・整備されている。	100%				4.0	◎
24 ◇教育に必要な施設・設備が整っている。	100%				4.0	◎
25 ◇寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。(舎生保護者のみ記入)	80%	20%			3.8	◎
26 ◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	100%				3.7	◎
27 ◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	100%				3.7	◎
【自由記述】 ・舎生に背中を向けて返事をする、無視する、避けるなど、舎生が不愉快、不安になる態度を改めてほしいです。舎生全員に平等であってほしいと思います。【←高等部の欄の同様の意見に対する答えと同じ】						
【成果と今後の課題】 16:PTA活動自体は、全て予定どおり行われ、係の方も準備など積極的に取り組まれましたが、参加される人がほぼ固定されていたように思います。来年度は、もっとたくさんの方に参加していただけるように、企画など考えていければと思います。						

令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 9人 / 9人 回収率 100%

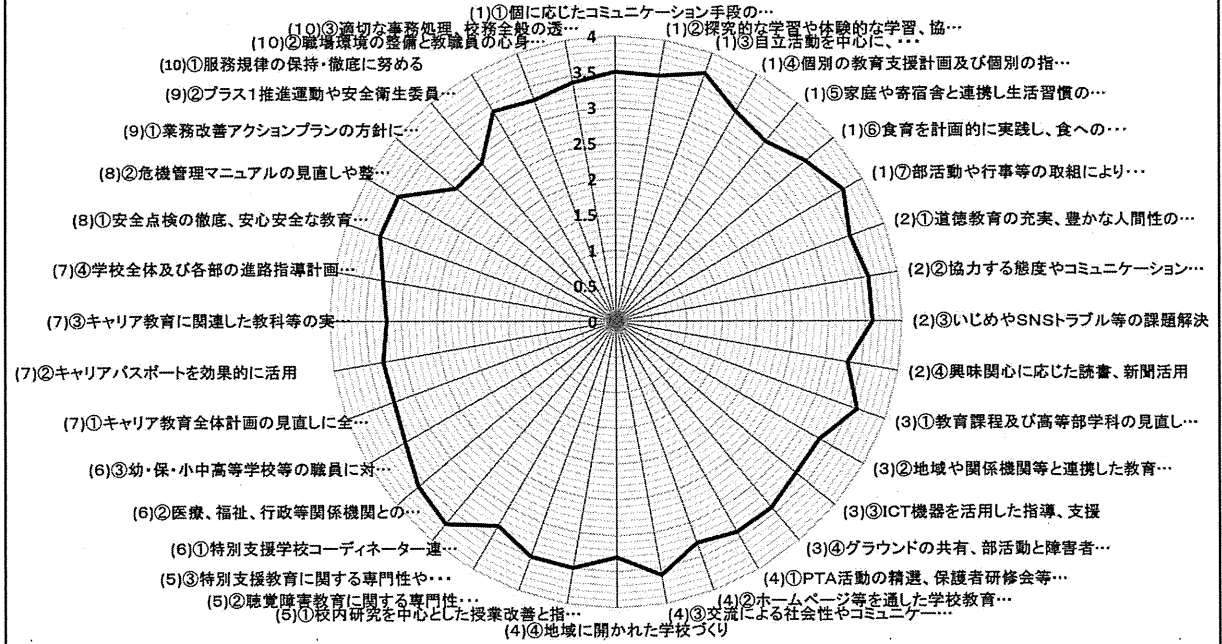
(中学) 部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

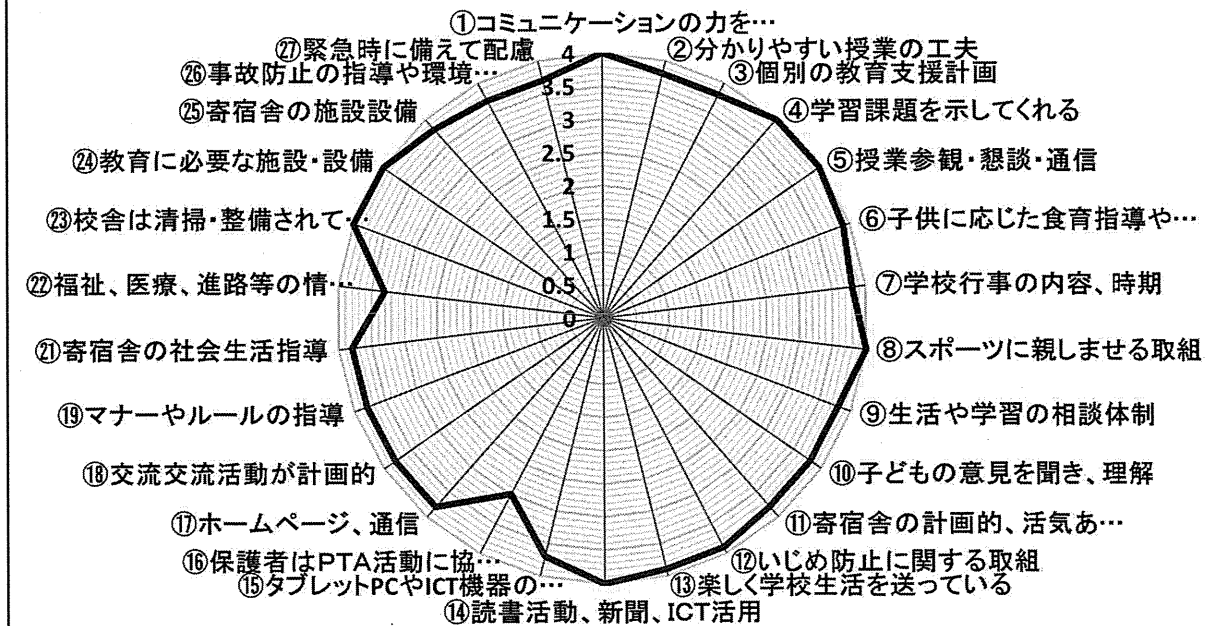
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができる。	55%	33%	11%		3.4	○
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	67%	33%			3.7	◎
3	授業内容が分かり、楽しく学習している。	33%	67%			3.3	○
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	44%	56%			3.4	○
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	56%	44%			3.6	○
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	11%	67%	11%	11%	2.8	△
7	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	56%	22%	22%		3.3	△
8	部活動や体育、昼休みの時間などに体を動かしている。	44%	33%	22%		3.2	△
9	先生は、私の良いところをほめてくれる。	78%	11%	11%		3.7	○
10	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	78%	22%			3.8	◎
11	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	56%	33%	11%		3.4	○
12	自分から進んであいさつをしている。	67%	22%	11%		3.6	○
13	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ記入)	50%	50%			3.5	○
14	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	67%	33%			3.7	◎
15	学校には仲の良い友達がいって楽しく生活している。	89%	11%			3.9	◎
16	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	56%	44%			3.6	○
17	先生は、パソコンやタブレットパソコンを使って教えてくれる。	33%	67%			3.3	○
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	44%	33%	22%		3.2	○
19	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。 (高等部のみ記入)	/	/	/	/	/	/
20	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	67%	33%			3.7	◎
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	67%	33%			3.7	◎
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	89%	11%			3.9	◎
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	78%	22%			3.8	◎
24	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	83%	17%			3.8	◎
25	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	89%	11%			3.9	◎
【自由記述】 特になし							
【成果と今後の課題】 6:家や寄宿舎での学習については、各教科宿題を準備しているが、苦手な教科の宿題をしてこないことがあるので、引き続き指導を続けます。 7:行事への取組は、生徒の様子を見ている限り、全員が積極的に取り組み、楽しんでいただよう思えます。 8:昼休みについては、給食の準備と後片付けに時間がかかるため、運動をする時間を十分に取ることは難しいと思われま す。							

中学部職員



中学部保護者



令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(高等部)

学校教育目標	○基本的人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から 高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立 し積極的に社会参加できる力を培う。
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。
学部努力目標	①高等部職員間や寄宿舎職員との連携を深め、キャリア教育に基づいた教育活動を展開し、適切な進路の実現に向けて、勤労観、職業観を高めるとともに、卒業後、主体的に生活する態度を養う。 ②一人一人の教育的ニーズを把握し、言語力、コミュニケーション力の向上に努め、自分の意思や考えを発信できる力を育成する。 ③保護者及び関係機関、地域との連携を図り、高等部の教育活動への理解を深める。 ④高等部は生きる力を育むことのできる最後の教育機関であることの自覚と責任をもち、専門性や指導力の向上を目指す。 ⑤中・高校生を中心とした教育相談・支援機能の充実を図り、聴覚障害教育のセンターとしての役割を果たす。 ⑥部管轄の施設・設備の整備と学習環境の充実に努める。

4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない

到達度(十分達成○、概ね達成△、課題あり△)

目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
--------------	----	------	-----------

(1) 確かな学力と生きる力の育成				
①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.3)	4	32	「生徒数の減少で、クラス一人という環境で、コミュニケーションを高める活動ができていない」という意見があった。	○
	3	64		
	2	5		
	1	0		
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.1)	4	14	「自分たちで考えて活動できる場がほとんどない」という意見があった。探究的な学習や協働的な学習をどのような学習場で仕組むかを今後、具体的に考えていきたい。	△
	3	82		
	2	5		
	1	0		
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	41		○
	3	59		
	2	0		
	1	0		
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.3)	4	27		○
	3	73		
	2	0		
	1	0		
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.3)	4	27		○
	3	73		
	2	0		
	1	0		
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.4)	4	41		○
	3	59		
	2	0		
	1	0		
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり				
①幼児児童生徒の基本的人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.4)	4	41		○
	3	59		
	2	0		
	1	0		
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.6)	4	59		○
	3	41		
	2	0		
	1	0		
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.0)	4	5	「2」以下の評価はなく、生徒、保護者の関連項目の評価も低くなかったが、評価点は「3.0」であった。読書活動、新聞を活用した教育活動を継続的に推進していきたい。	△
	3	95		
	2	0		
	1	0		

(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善				
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程及び高等部学科の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.1)	4	18	今年度は、進路先の企業や大学との話し合いの場を多く設定し、関係機関との連携を深めた。しかし、地域とつながる教育活動が少なかった。このことが、評価点が上がらなかった原因ではないかと考える。	△
	3	77		
	2	5		
	1	0		
③個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
(4) 関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.3)	4	36	「面談、各種研修会、学級通信、メールメイト、ホームページ等あらゆる手段で情報を発信しているが一方通行で終わっている場合が多い」という意見があった。情報発信したものがきちんと伝わっているのか、教育活動に生かされているのかなどを保護者や生徒に確認したり、伝わっていなければ周知・理解を図ったりする機会を作っていきたい。	○
	3	55		
	2	9		
	1	0		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.4)	4	41		○
	3	59		
	2	0		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 3.3)	4	27		○
	3	73		
	2	0		
	1	0		
(5) 教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	41		○
	3	59		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.4)	4	41		○
	3	59		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.2)	4	27	「職員減で外部での研修会に参加できにくい」という意見があった。時間割等の調整をスムーズに行い、これまで以上に行きやすい雰囲気づくりに努めていきたい。	○
	3	64		
	2	9		
	1	0		
(6) 特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.4)	4	43		○
	3	57		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組み、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.3)	4	32		○
	3	68		
	2	0		
	1	0		
(7) キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.2)	4	23		○
	3	77		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 3.0)	4	5	職場見学、職場体験、各行事等の振り返りや反省等は行っているが、キャリアパスポートの活用に課題がある。生徒用アンケートの関連項目「将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている」の評価が若干低いこともあるので、今後、キャリア支援部と連携しながらキャリアパスポートの活用を考えていきたい。	△
	3	86		
	2	9		
	1	0		

③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 3.1)	4	14	「キャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や改善」が、具体的に全体的に見えていないことが評価が上がらなかった原因ではないかと考える。	△
	3	82		
	2	5		
	1	0		
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.3)	4	32		○
	3	68		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.1)	4	14	「職員減に伴い一人一人の業務の負担が大きくなることから行事を隔年での実施や縮小する必要がある」という意見があった。職員減については現段階では確定していないが、一人一人の業務負担を減らす方策については、今後も検討を続け業務の効率化を図ってきたい。	△
	3	81		
	2	5		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.1)	4	14	プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革の推進についても、全体や学部単位で、具体的に検討を重ね、働き方改革を進める必要がある。	△
	3	81		
	2	5		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服従規律強化月間の取組を中心に、服従規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.5)	4	55		○
	3	45		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.4)	4	36		○
	3	64		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.3)	4	32		○
	3	68		
	2	0		
	1	0		

評価の欄に、下記の4~1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
 4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
確かな学力と生きる力の育成							
1	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	64%	36%			3.6	○
2	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	73%	27%			3.7	◎
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子供のニーズに合っている。	64%	36%			3.6	○
4	◇子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	64%	36%			3.6	○
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	45%	45%	9%		3.4	○
6	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	73%	27%			3.7	◎
7	◇学校行事は、子供の実態に応じた内容で、時期は適切である。	64%	36%			3.6	○
8	◇部活動や体育、昼休みなどの時間を通して、スポーツに親しませる取組をしている。	55%	27%	18%		3.4	△
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり							
9	◇生活や学習について、親身になって相談にのってくれる体制ができています。	45%	55%			3.5	○
10	◇教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	55%	36%	9%		3.5	○
11	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。(舎生保護者のみ記入)	67%	33%			3.7	◎
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	73%	27%			3.7	◎
13	◇子供は楽しく学校生活を送っている。	45%	55%			3.5	○
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子供の興味関心を広げる工夫がなされている。	45%	55%			3.5	○
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善							
15	◇タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。 (小・中学・高等部保護者記入)	60%	40%			3.6	○
関係機関や地域・保護者との連携強化							
16	◇保護者はPTA活動に協力的である。	25%	50%	25%		3.0	△
17	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	45%	55%			3.5	○
18	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	55%	36%	9%		3.5	○
キャリア教育の充実							
19	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	55%	45%			3.5	○
20	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	60%	40%			3.6	○
21	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	75%	25%			3.8	◎
22	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	36%	55%	9%		3.3	○
施設・設備の整備と教育環境の充実							
23	◇校舎はよく清掃・整備されている。	64%	36%			3.6	○
24	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	64%	36%			3.6	○
25	◇寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。 (舎生保護者のみ記入)	75%	25%			3.8	◎
26	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	73%	27%			3.7	◎
27	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	64%	36%			3.6	○

【自由記述】
 ・熱中症対策として特別棟にもエアコンの設置してほしい。【←今後も、引き続き県の教育委員会に要望していきます】
 ・通訳等の利用方法、年金の手続き方法。高等部卒業を前に成人を迎えるため、そのようなことも学ぶ機会があると良いと思います。(既に教えていたらすみません。)【←それらの内容は、カリキュラムの中に入っていますので必ず指導します】
 ・細かいことですが、紙とWebでの評価基準の言葉が異なるのが気になります。【←次年度は、文言を統一します】子供が卒業したあとと孤立しないような支援があるのか、年金等の手続きはどうするのか等情報があれば良いと思います。【←適宜、情報提供します】
 ・寄宿舎にて、舎職員が舎生に対して差別扱いがあった。例えば、ある舎生へは明るく優しく挨拶するのに、ある舎生へは挨拶もせず舎生が挨拶しても無視する、舎生を避ける行動をとる、理不尽な言動がある。人間誰でも失敗や間違いはあります。そのとき、間違いに気付いたり、失敗したら素直に舎生へ謝ってほしいです。舎生へはそう指導しているのに舎職員の先生が実行しないのはおかしいと思います。【←舎に関する11、12の評価点は高かったのですが、厳しい御意見があったことを真摯に受け止め、どの寄宿舎生にも平等に、そして、言いたいことをうまく言えないと感じている寄宿舎生がいることを踏まえて、これまで以上に受容的な態度で接するよう心掛けます。】

【成果と今後の課題】
 全体的に高い評価点をいただきました。昨年度の評価点と比較すると、27項目中4項目で評価点が下がりましたが(項目16、23、24、25)、その他の23項目では上がりました。特に、1~15までの直接指導に関わる項目の評価点が上がり、指導面の改善が図られたと思います。
 8:部活動や体育、昼休みなどの時間を通して、スポーツに親しませる取組の評価が低い保護者が見られました。生徒のアンケート結果にも書きましたが、部活動が陸上部以外にないことへの生徒の不満を受けた影響と考えられます。今後、部活動の在り方について生徒としっかり話し合っていきますが、保護者の方へもその結果をきちんと説明していきたいと思えます。
 16:PTA活動についての評価点が低かったです。PTA活動自体は、全て予定どおり行われ、係の方も準備など積極的に取り組まれましたが、参加される人がほぼ固定されていました。来年度は、もっとたくさんの方に参加していただけるような企画を、全校、学部で検討したいと思います。

令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 12人 / 12人 回収率 100%

(高等) 部

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価 %				評価	到達度(十分達成○、概ね達成△、課題あり△)
		4	3	2	1		
学校について							
1	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができる。	25%	75%			3.3	○
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	42%	50%	8%		3.3	○
3	授業内容が分かり、楽しく学習している。	50%	25%	25%		3.3	△
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	42%	58%			3.4	○
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	17%	67%	17%		3.0	△
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。	33%	58%	8%		3.3	○
7	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	50%	50%			3.5	○
8	部活動や体育、昼休みの時間などに体を動かしている。	33%	50%	17%		3.2	△
9	先生は、私の良いところをほめてくれる。	33%	58%	8%		3.3	○
10	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	50%	42%	8%		3.4	○
11	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	25%	67%	8%		3.2	○
12	自分から進んであいさつをしている。	50%	50%			3.5	○
13	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ記入)	29%	57%	14%		3.1	△
14	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	50%	50%			3.5	○
15	学校には仲の良い友達がいる楽しく生活している。	33%	50%	17%		3.2	△
16	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	42%	58%			3.4	○
17	先生は、パソコンやタブレットパソコンを使って教えてくれる。	33%	67%			3.3	○
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	42%	50%	8%		3.3	○
19	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。(高等部のみ記入)	25%	67%	8%		3.2	○
20	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	58%	42%			3.6	○
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	42%	58%			3.4	○
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。	25%	67%	8%		3.2	○
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	42%	58%			3.4	○
24	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	29%	71%			3.3	○
25	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	58%	42%			3.6	○

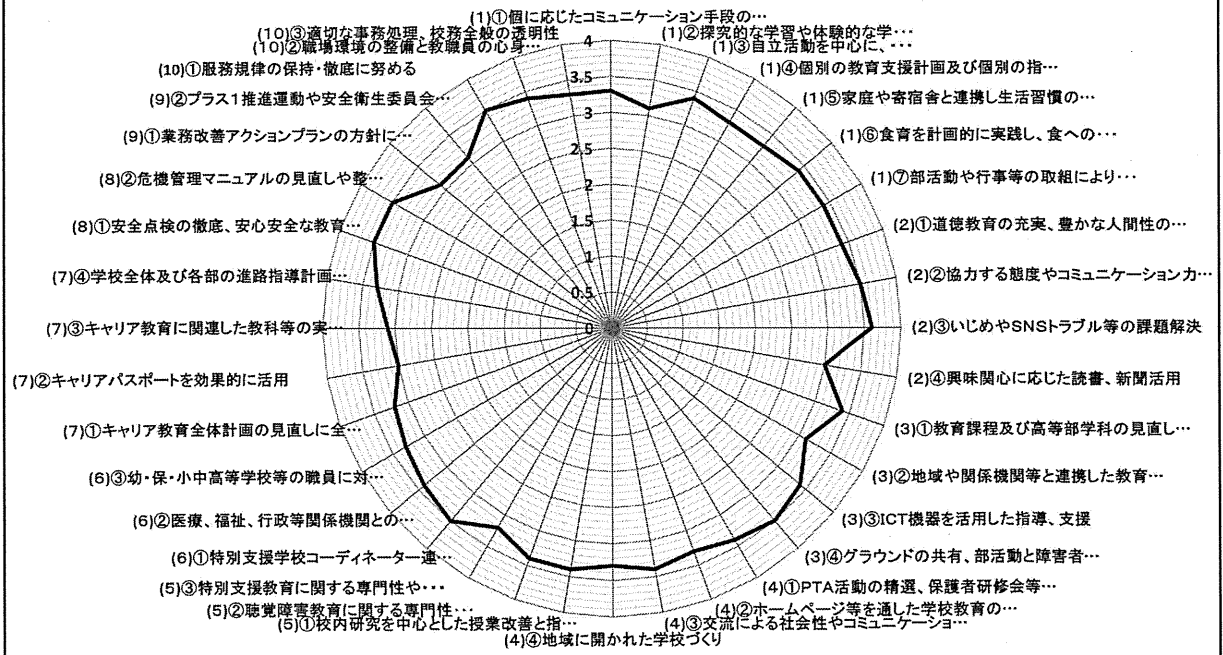
【自由記述】

- ・全校レクリエーションを増やしてほしい。
- ・生徒全員に1年1回以上カウンセリングを受けさせる。

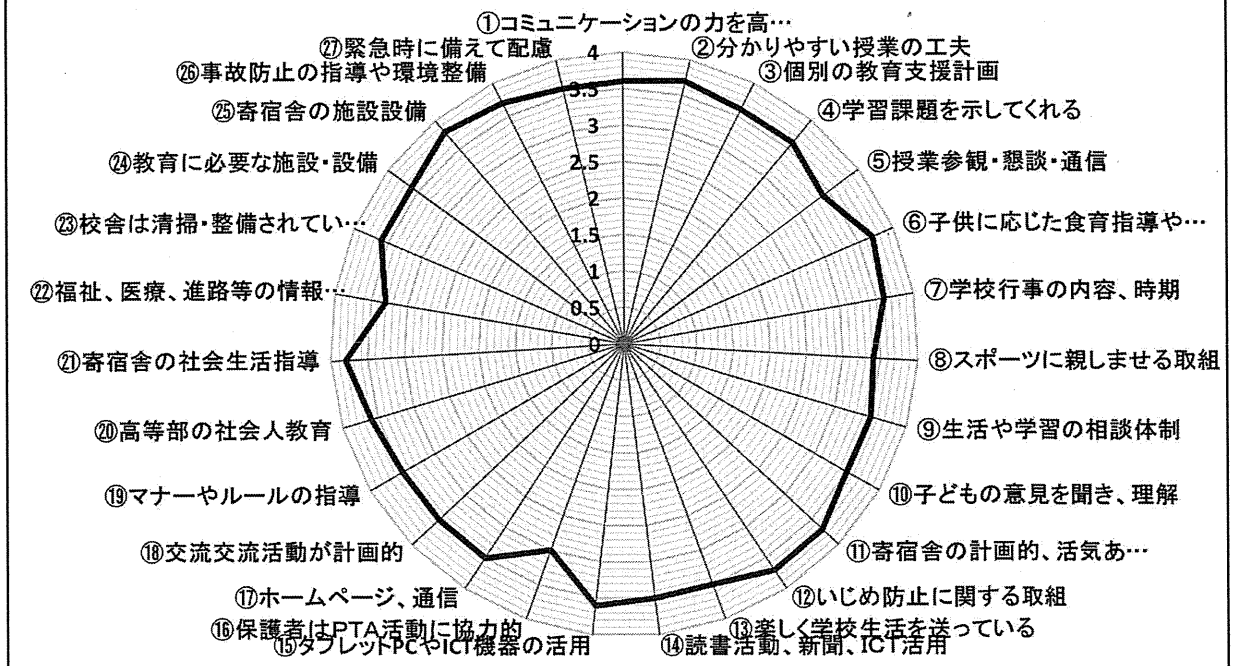
【成果と今後の課題】

昨年度、9つあった「△」の項目が、今年度は5つとなり、改善が見られました。
 3:授業内容の理解について、課題を感じている生徒が見られました。個に応じた課題の設定や指導の工夫などが今後も必要です。
 6:家庭や寄宿舎での学習の仕方のアドバイスについては、昨年度同様、教師が伝えたつもりの内容がうまく伝わっていない生徒がいました。きちんと伝わったのかの確認を徹底するとともに、高校生として、聞き返したり、アドバイスを求めたりする姿勢を育てたいと思います。
 8:部活動や体育、昼休みの時間などに体を動かすことに満足していない生徒がいました。生徒会総会では、陸上部以外の部の立ち上げや陸上部の中で他のスポーツを取り入れてほしいなどの要望が出ていたので、それらの影響が考えられます。今後、部活動の在り方について生徒としっかり話し合っていきたいと思います。
 13:舎生会活動に主体的に取り組むことが難しい生徒が若干いた。寄宿舎と連携しながら今後検討していきます。
 15:仲の良い友達存在と楽しい学校生活に満足していない生徒が若干名いました。少ない集団で、気の合う友達ができにくい環境であるので、学年、学部を越えた活動を可能な限り取り入れて、縦や横のつながりを意識させていきたいと思います。

高等部職員



高等部保護者



令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(分教室)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚園から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚園から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実に努める。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
(1)確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.5)	4	50	○
	3	50	
	2	0	
	1	0	
②基礎基本の知識や技能を定着させるとともに、幼児児童生徒が主体的にそれらを生活や新たな学習課題の解決に活用するための探究的な学習や体験的な学習、協働的な学習を取り入れる。 (評価点 3.3)	4	25	○
	3	75	
	2	0	
	1	0	
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.2)	4	17	○
	3	83	
	2	0	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.5)	4	50	施設との連絡を行い、定期的に面談している。 ○
	3	50	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舎と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.4)	4	42	○
	3	58	
	2	0	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.1)	4	8	教育課程表への表記に合わせて、食育について再確認する。 ・食育関係の掲示物の取組もあるので、それを活用するよう呼び掛ける。 △
	3	92	
	2	0	
	1	0	
⑦部活動や行事等の取組により幼児児童生徒の体力向上に努め、スポーツに親しみ主体的に取り組む態度や習慣を育成する。 (評価点 3.3)	4	25	○
	3	75	
	2	0	
	1	0	
(2)個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.3)	4	33	○
	3	67	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.1)	4	8	小学部、中学部については、。学年の違いにより活性化が難しい面もあるが、年間の活動計画があり、互いに協力して行っている。 △ ・幼稚部については、小・中との活動は少ないが、歓迎会や集会など、できる範囲で行っている。
	3	92	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.4)	4	42	○
	3	58	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.3)	4	25	○
	3	75	
	2	0	
	1	0	
(3)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善			
①教育課程検討委員会及び教科等部会を活性化し、多様化する幼児児童生徒の実態に応じた教育課程及び高等部学科の見直しと改善に全職員で取り組む。 (評価点 3.0)	4	0	教育課程の改善については、全職員で取り組んでいる。分教室の職員が少ないこともあり、教科等部会の取組はないため評価点が低かったと思われる。幼小中の縦の連携を図る取組を行う。 △
	3	100	
	2	0	
	1	0	

②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.1)	4	8	・柚木地区の手話講座の講師を担当したり、地域の祭りに作品を出品したりするなどの取組は行っている。	△
	3	92		
	2	0		
	1	0		
③個別最適な学びを推進し確かな学力を身に付けるために、ICT機器を活用した指導、支援に家庭と連携して取り組む。 (評価点 3.1)	4	8	・ICTを活用した学習には取り組んでいるが、家庭への持ち帰りはしておらず、家庭との連携を図る必要がある。	△
	3	92		
	2	0		
	1	0		
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.0)	4	0		△
	3	100		
	2	0		
	1	0		
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 2.8)	4	0	・掲載する内容を写真と活動名だけにするなど、簡単にアップできるよう方針を示す。	△
	3	83		
	2	8		
	1	8		
③居住地校や近隣の学校等との交流及び共同学習を進め、幼児児童生徒間の豊かな交流を図ることにより社会性やコミュニケーション力の向上に努める。 (評価点 3.4)	4	50		○
	3	42		
	2	8		
	1	0		
④自治会等地域との交流や清掃活動等を通して、学校教育に関する理解・啓発を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。 (評価点 2.8)	4	0	・「長崎っ子の心を見つめる教育週間」で今年度から地域への学校公開を行い、保護者との地域清掃にも取り組んだ。地域の方と交流する機会を作る必要がある。	△
	3	92		
	2	0		
	1	8		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.7)	4	67		◎
	3	33		
	2	0		
	1	0		
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
(6)特別支援教育のセンター的機能の充実				
①各地区の特別支援学校コーディネーター連絡会及び特別支援教育連絡協議会に積極的に参加し、聴覚障害幼児児童生徒の相談支援の充実とセンターとしての役割を果たす。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
②医療、福祉、行政等関係機関とのネットワークを構築し、積極的に連携しながら難聴乳幼児の教育相談や支援を推進する。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		
③幼・保・小中高等学校等の職員に対する研修会並びに研修協力に取り組む、学校教育の理解・啓発や特別支援教育の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	42		○
	3	58		
	2	0		
	1	0		
(7)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.1)	4	8	・幼稚部は教育課程編成時に学習内容とキャリア教育との関連について確認を行った。 ・キャリア教育全体計画について検討するための計画を自立支援部を中心に計画する。	△
	3	92		
	2	0		
	1	0		
②キャリアパスポートを効果的に活用し、キャリア発達に関する児童生徒の主体的な取組と進路実現を図る。 (評価点 2.8)	4	0	・小中学部においてはキャリアパスポートを活用し、児童生徒の主体的な取組を図っている。 ・キャリアパスポートについての取組を紹介するなどして、教員間の共通理解を図る必要がある。	△
	3	92		
	2	0		
	1	8		
③全学部におけるキャリア教育に関連した教科等の実践や評価による教育課程編成や、改善に努める。 (評価点 2.9)	4	0	・在籍する学年については、キャリア教育を意識した教科等の実践は行っており、改善等にも努めているが、不在の学年もあり、すべての学年において改善できているとは言えない。年度進行で改善に努める。	△
	3	92		
	2	8		
	1	0		
④学校全体及び各部の進路指導計画を見直し、キャリア教育全体計画と関連させながら幼児児童生徒の実態やニーズに応じた指導を推進する。 (評価点 3.0)	4	0	・進路指導計画については、全学部で見直しに取り組んでいる。 ・今年度の進路指導計画を再度全職員に周知すること、新年度にキャリア教育全体計画、進路指導計画について周知する機会を設ける。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		

(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備を進め、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.6)	4	58		○
	3	42		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.3)	4	25		○
	3	75		
	2	0		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.3)	4	33		○
	3	67		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.2)	4	17		○
	3	83		
	2	0		
	1	0		

令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価保護者アンケート 9人/9人 回収率 100%

(分教室)

評価の欄に、下記の4～1を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。
4:良くあてはまる 3:ややあてはまる 2あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容		評価%				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○課題あり△)
		4	3	2	1		
確かな学力と生きる力の育成							
1	◇個に応じた手段で、コミュニケーションの力を高めるための指導がなされている。	100%				4.0	◎
2	◇個に応じた分かりやすい授業の工夫がなされている。	89%	11%			3.9	◎
3	◇個別の教育支援計画の支援目標は、保護者や子供のニーズに合っている。	89%	11%			3.9	◎
4	◇子供が家庭や寄宿舎で取り組む学習課題を示してくれる。	50%	50%			3.5	○
5	◇授業参観・学級懇談・通信などを通して、子供の様子(学習・生活・健康等)を知らせてくれる。	100%				4.0	◎
6	◇健康・安全や食事マナーを考慮し、子供に応じた食育指導や環境整備がなされている。	67%	33%			3.7	◎
7	◇学校行事は、子供の実態に応じた内容で、時期は適切である。	78%	22%			3.8	◎
8	◇部活動や体育、昼休みなどの時間を通して、スポーツに親しませる取組をしている。	75%	25%			3.8	◎
個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり							
9	◇生活や学習について、親身になって相談のしてくれる体制ができています。	78%	22%			3.8	◎
10	◇教育活動全般において、子供の意見を聞き、よく理解してくれる。	100%				4.0	◎
11	◇寄宿舎は計画的で活気がある活動をしている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
12	◇いじめ防止に関する適切な取組がなされている。	44%	56%			3.4	○
13	◇子供は楽しく学校生活を送っている。	78%	11%	11%		3.7	◎
14	◇読書活動や新聞、ICT機器を活用し、子供の興味関心を広げる工夫がなされている。	78%	22%			3.8	◎
今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善							
15	◇タブレットPCやICT機器を活用した授業推進がなされている。 (小・中学・高等部保護者記入)	40%	60%			3.4	○
関係機関や地域・保護者との連携強化							
16	◇保護者はPTA活動に協力的である。	56%	33%	11%		3.4	○
17	◇ホームページ、学校便りや学級通信で、教育方針や各部の目標、特色ある教育活動など、学校の様子を伝えてくれる。	67%	33%			3.7	◎
18	◇近隣の学校との交流活動が計画的に行われている。	78%	22%			3.8	◎
キャリア教育の充実							
19	◇社会生活に必要なマナーやルールなどについて、子供に応じて指導がなされている。	67%	33%			3.7	◎
20	◇高等部は、生徒の技能向上への意欲と、社会人としての資質を高めるための指導がなされている。(高等部保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
21	◇寄宿舎では年齢に応じた社会生活(挨拶や服装、社会のルール、マナー等)を身に付けるような指導がなされている。(舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
22	◇福祉、医療、進路等に関する情報提供がなされている。	33%	67%			3.3	○
施設・設備の整備と教育環境の充実							
23	◇校舎はよく清掃・整備されている。	67%	22%	11%		3.6	○
24	◇教育に必要な施設・設備が整っている。	38%	63%			3.4	○
25	◇寄宿舎の施設・設備は、安全・健康に配慮されている。 (舎生保護者のみ記入)	/	/	/	/	/	/
26	◇事故防止のための指導や環境整備がなされている。	78%	22%			3.8	◎
27	◇災害などの緊急時に備えて適切な配慮がなされている。	56%	44%			3.6	○
【自由記述】							
<ul style="list-style-type: none"> ・子供の創造力や体力の更なる向上、協調性の習得などのために、滑り台やアスレチック遊具等の遊具で遊ぶことは大変有意義であると考えます。現存する遊具で楽しく安心・安全に遊べるように傷んでいるものについては、修繕すること、又、遊びの幅が広がるような新たな遊具が設置されることを望んでいます。 ・給食で、幼稚部メニューがあるとありがたいです。 ・進路について考えたりしていますが、いろいろな情報がほしいです。ろう学校の小学部のお母さんたちから話を聞いてみたいです。 							
【成果と今後の課題】							
<ul style="list-style-type: none"> ・(13)楽しく学校で過ごすことができるよう、幼児児童生徒との対話に努め、ご家庭との連携を図り、課題解決に当たります。 ・遊具についてのご意見をいただきました。壊れているものや老朽化しているものについては報告し、修理や新規設置等の計画について検討しています。自由に存分に体を動かすことのできる環境は幼児児童の発達に不可欠なものであると考えますので、職員でできる環境整備に努めるとともに、事務室と連携し、改善に努めます。 ・PTA保護者会などを利用し、保護者同士、自由に話ができる場を作っていきたいと思っております。 							

令和5年度 長崎県立ろう学校学校評価児童生徒アンケート 3人 /3人 回収率100%

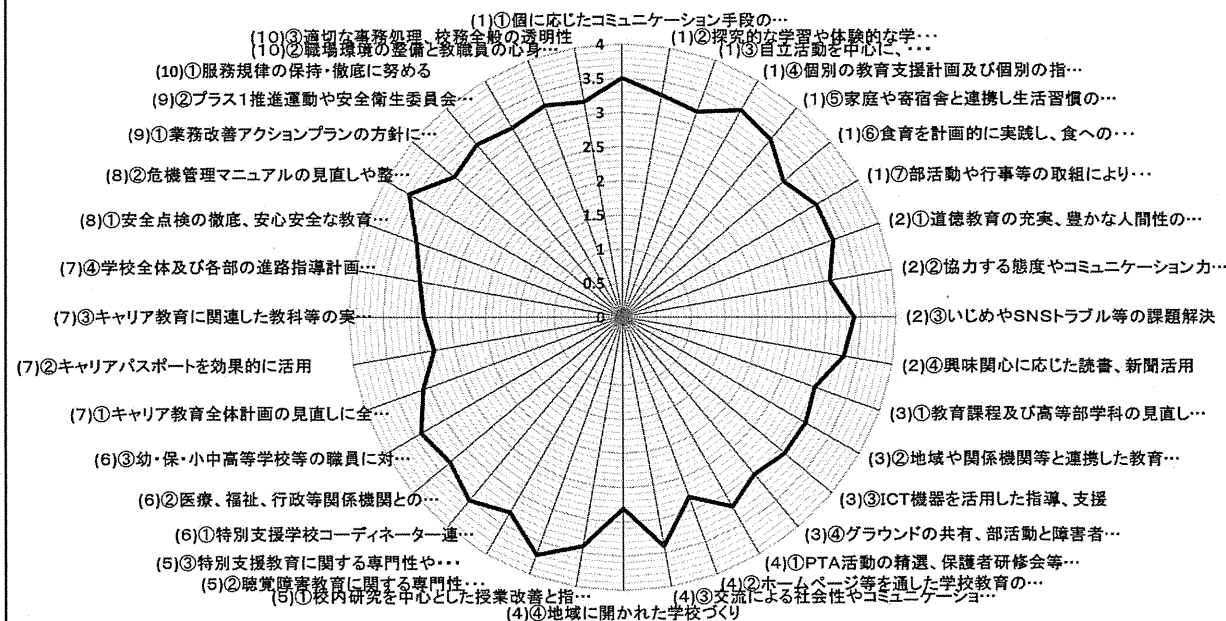
(分教室)

評価の欄に、下記の数字を基準にして、あてはまる部分の欄に○を付けてください。

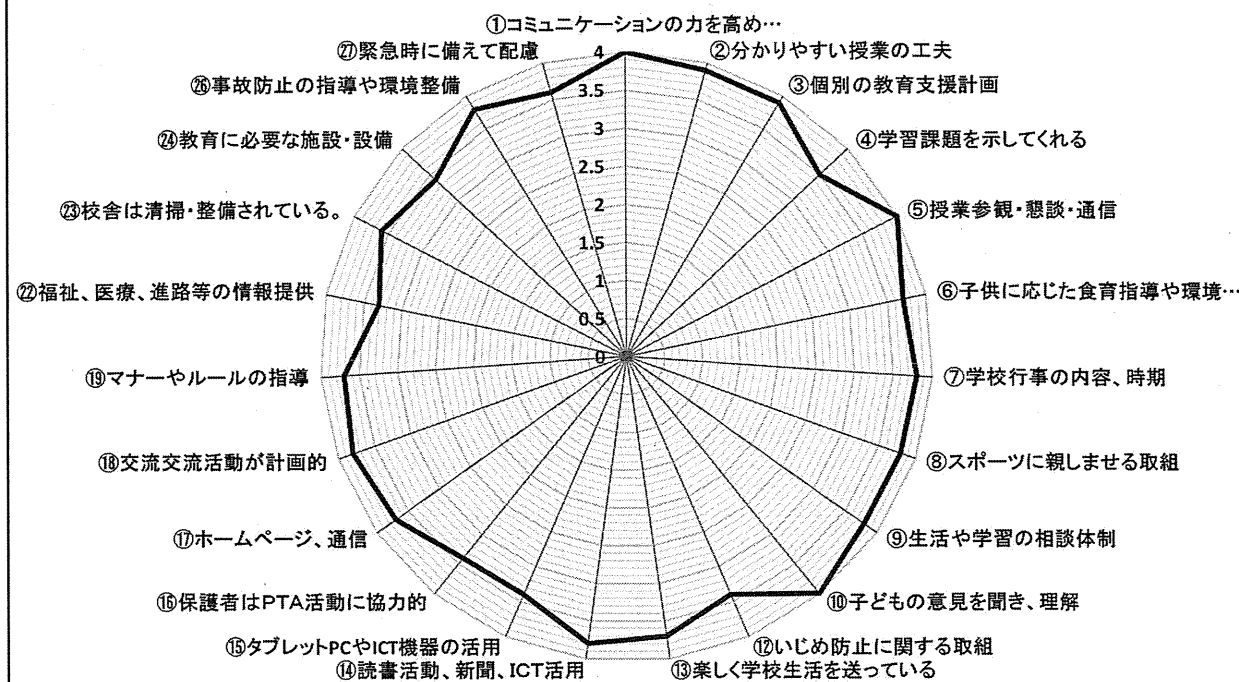
4:良くあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

具体的評価内容	評価 %				評価	到達度(十分達成◎、概ね達成○、課題あり△)	
	4	3	2	1			
学校について							
1	自分に合ったコミュニケーション方法で、気持ちを伝えることができる。	33%	67%			3.3	○
2	先生は、授業中に分かりやすく丁寧に教えてくれる。	33%	33%		33%	2.7	△
3	授業内容が分かり、楽しく学習している。	33%	33%		33%	2.7	△
4	先生は、私の努力すべきことを教えてくれる。	33%	33%		33%	2.7	△
5	先生は家庭や寄宿舎での学習の仕方についてアドバイスをしてくれる。	33%	33%		33%	2.7	△
6	家や寄宿舎でも、自分から進んで学習に取り組んでいる。		33%	33%	33%	2.0	△
7	文化祭や体育祭などの学校行事に、意欲的に取り組んでいる。	33%	33%		33%	2.7	△
8	部活動や体育、昼休みの時間などに体を動かしている。		67%		33%	2.3	△
9	先生は、私の良いところをほめてくれる。	33%	33%		33%	2.7	△
10	困ったときや悩んだときは、先生が相談にのってくれる。	33%	33%	33%		3.0	△
11	先生は、児童会・生徒会で自分たちが考えたことを聞いてくれる。	33%	33%		33%	2.7	△
12	自分から進んであいさつをしている。	33%	33%		33%	2.7	△
13	舎生会活動は自分たちで考え、進んで取り組んでいる。(舎生のみ記入)	/	/	/	/	/	/
14	まちがったことや悪いことをしたとき、先生は丁寧に話を聞いたり指導したりしてくれる。	33%	33%		33%	2.7	△
15	学校には仲の良い友達がいる楽しく生活している。	67%			33%	3.0	△
16	新聞やICT機器を使って、必要な情報を入手できる。	33%	33%	33%		3.0	△
17	先生は、パソコンやタブレットパソコンを使って教えてくれる。	33%	33%	33%		3.0	△
18	服装などの身だしなみに気をつけている。	67%		33%		3.3	○
19	将来の自分を想像しながら、目標をもって学校生活を送っている。 (高等部のみ記入)	/	/	/	/	/	/
20	進路・卒業後の生活について、先生は親身になって話してくれる。	33%	33%	33%		3.0	△
21	先生は、病気や事故がないように気をつけてくれる。	67%			33%	3.0	△
22	校舎は、掃除が行き届き、いつもきれいである。		67%	33%		2.7	△
23	校内には、危険な場所がなく安全である。	33%	33%		33%	2.7	△
24	寄宿舎の施設・設備は、危険な場所がなく安全である。(舎生のみ記入)	/	/	/	/	/	/
25	学校では交通ルールや火災・地震のときの避難の仕方を教えてくれる。	33%	67%			3.3	○
【自由記述】 特になし							
【成果と今後の課題】 <ul style="list-style-type: none"> 生徒が楽しく進んで学習に取り組めるよう、実態把握に努め、学習内容をスモールステップで計画します。 児童生徒の悩みや困り感に寄り添えるよう、児童生徒の対話を心掛けます。 学校行事の準備や昼休みなどにおいて、教師と児童生徒がともに活動し、活発な活動経験を児童生徒が体感できるように努めます。 安全点検を確実にを行います。 							

分教室職員



分教室保護者

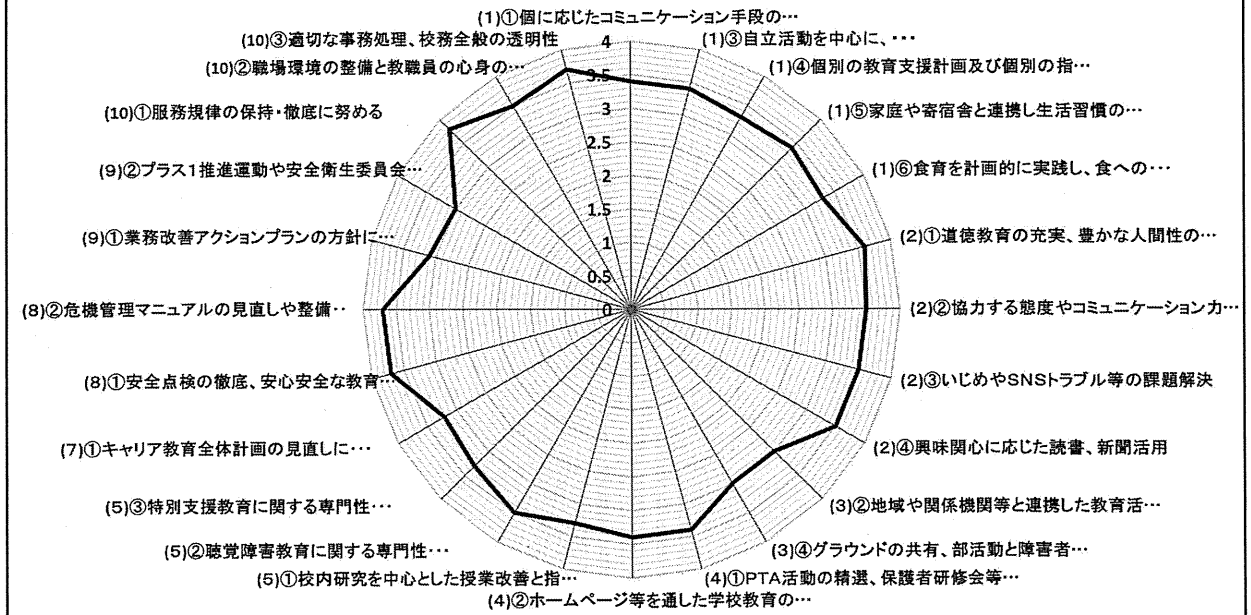


令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(寄宿舍)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舍との連携を深め、幼稚部から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
学部努力目標	(1) 基本的な生活習慣の確立を図る。 ○日課の中で、自主的・計画的な生活態度を身に付けるよう、指導・支援を行う。 ○日々の食事・掃除・洗濯や避難訓練等を通して、食・健康・安全・衛生についての基礎的な知識を身に付けるよう指導・支援を行う。 ○買物等を通して、金銭感覚を養うよう指導・支援を行う。 (2) 集団生活を通して社会性の育成に努める。 ○職員・友人との関わりや、ろうあ協会・外部講師との交流を通して、コミュニケーション力や社会性を育てる。 ○自治活動において行事の計画や共同作業などを通して、協力し合うことの大切さを学び、責任感を培うよう指導・支援を行う。 (3) 学校及び保護者との連携を図る。 ○学校・保護者と情報を共有し、共通理解を図り、一貫した指導・支援を行う。		
4 : 十分達成している 3 : おおむね達成している 2 : どちらかという達成されていない 1 : ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価 %	今後に向けての課題
(1) 確かな学力と生きる力の育成			
①聴覚活用の力を最大限に伸ばすとともに、視覚的情報や個に応じたコミュニケーション手段を活用することで、言語力やコミュニケーション力を高め、確かな日本語の習得を図る。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
③自立活動を中心に、聴覚障害による学習及び生活上の困難を改善・克服するための組織的な指導、支援の充実に努める。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
④個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、家庭や関係機関と連携し個々の教育的ニーズに応じた指導、支援を推進する。 (評価点 3.3)	4	30	○
	3	70	
	2	0	
	1	0	
⑤家庭や寄宿舍と連携し、幼児児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び社会性の向上に努める。 (評価点 3.4)	4	40	○
	3	60	
	2	0	
	1	0	
⑥食育を計画的に実践し、食への関心及び心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。 (評価点 3.3)	4	30	○
	3	70	
	2	0	
	1	0	
(2) 個性の伸長と豊かな人間性の育成および明るく元気な学校づくり			
①幼児児童生徒の基本的な人権を尊重し、年間計画に沿った人権教育を推進するとともに、全体計画に基づいた道徳教育の充実に努め、豊かな人間性の育成に努める。 (評価点 3.6)	4	60	○
	3	40	
	2	0	
	1	0	
②児童会や生徒会活動を活性化し、幼児児童生徒同士の交流の機会を積極的に図ることにより、互いに認め合い協力する態度やコミュニケーション力の向上を図る。 (評価点 3.5)	4	50	○
	3	50	
	2	0	
	1	0	
③いじめ防止基本方針に沿った対応や定期的な生活アンケート等の実施により、家庭や関係機関と連携しながら、いじめやSNSトラブル等の課題解決に努める。 (評価点 3.5)	4	50	○
	3	50	
	2	0	
	1	0	
④一人一人の特性や興味関心に応じた読書活動を進め、新聞を活用した教育活動を推進することにより広い視野と豊かな感性を育てる。 (評価点 3.5)	4	50	毎週、水曜日の朝に読書の時間を設けている。 ○
	3	50	
	2	0	
	1	0	
(3) 今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善			
②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.0)	4	0	ろうあ協会との交流会を年2回行った。今年度できなかった外部講師を招いての研修会を次年度計画したい。 △
	3	100	
	2	0	
	1	0	
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.0)	4	0	週末在舎の際の部活動への参加、大会等への参加の協力を行った。 △
	3	100	
	2	0	
	1	0	

(4)関係機関や地域・保護者との連携強化				
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.4)	4	40		○
	3	60		
	2	0		
	1	0		
(5)教職員の専門性及び指導力の向上				
①校内研究を中心に、自ら学ぶ力や思考力・判断力・表現力を高めるための授業改善と指導の充実に努める。 (評価点 3.3)	4	30		○
	3	70		
	2	0		
	1	0		
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③経年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.3)	4	30		○
	3	70		
	2	0		
	1	0		
(7)キャリア教育の充実				
①幼児児童生徒の実態やキャリア発達段階に応じたキャリア教育全体計画の見直しに全職員で取り組む。 (評価点 3.2)	4	20		○
	3	80		
	2	0		
	1	0		
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実				
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.7)	4	70	毎月、担当箇所の安全点検を行っている。	◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		
(9)働き方改革の推進				
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.1)	4	10	マニュアルを作成し、共通理解している。	△
	3	90		
	2	0		
	1	0		
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心とした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.0)	4	0	全職員が情報を共有し、みんなが意見を出しやすい場を作り上げていく。	△
	3	100		
	2	0		
	1	0		
(10)コンプライアンスの徹底				
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 3.8)	4	80		◎
	3	20		
	2	0		
	1	0		
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.5)	4	50		○
	3	50		
	2	0		
	1	0		
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 3.7)	4	70		◎
	3	30		
	2	0		
	1	0		

寄宿舎職員



令和5年度 長崎県立ろう学校 学校評価 集計表(事務室)

学校教育目標	○基本的な人権を尊重し、幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで一貫した教育を行うことにより、健康で明るく心豊かな人間を育成する。 ○聴覚障害による学習または生活上の困難を改善克服することにより、生きる力を高め自立し積極的に社会参加できる力を培う。		
学校経営目標	①本校と佐世保分教室が目標を共有し、保護者及び寄宿舎との連携を深め、幼稚部から高等部まで一貫した教育を推進することにより、確かな学力とコミュニケーション力を基礎に、生きる力を育成する。 ②一人一人の個性を伸ばし、豊かな人間性の育成に努め、明るく元気な学校づくりを推進する。 ③長期的な視点に立ち、組織的な対応や運営に取り組むことにより、今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善に努める。 ④関係機関や地域と密に連携し、社会に開かれ信頼される学校づくりに努める。 ⑤特別支援教育及び聴覚障害教育における教職員の専門性及び指導力の向上に努める。 ⑥本校、佐世保分教室が連携し、全県的な特別支援教育のセンター的機能の充実を図る。 ⑦個々の幼児児童生徒のキャリア発達を支援し、ニーズに応じた進路指導及び進路実現を図り、自立と社会参加を目指す。 ⑧施設・設備の整備を進め、幼児児童生徒及び職員の安心安全な教育環境の充実に努める。 ⑨業務改善アクションプランに基づき会議や行事の精選及び業務分担等の適正化を図り、働き方改革を推進する。 ⑩コンプライアンスを徹底し不祥事を根絶することにより、働きやすく風通しの良い職場環境づくりに努める。		
4：十分達成している 3：おおむね達成している 2：どちらかという達成されていない 1：ほとんど達成されていない			
目標達成のための主な取組	点数	評価%	今後に向けての課題
(3)今後の学校の在り方を見据えた教育課題の解決及び改善			
②魅力ある学校づくりを推進するために、地域や関係機関等と連携した教育活動推進に全職員で取り組む。 (評価点 3.2)	4 3 2 1	20 80 0 0	○
④虹の原特別支援学校と安全にグラウンドを共有し、部活動の活性化と障害者スポーツの推進に取り組む。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	40 60 0 0	○
(4)関係機関や地域・保護者との連携強化			
①学校行事や教育活動への理解や協力を促し、PTA活動の精選を図るとともにニーズに応じた保護者研修会等を実施する。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	60 40 0 0	○
②学校ホームページ等を通じて情報の発信に努め、学校教育の理解・啓発に努める。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	40 60 0 0	○
(5)教職員の専門性及び指導力の向上			
②授業研究会や手話講習会等の外部講師を招聘した研修会を実施し、聴覚障害教育に関する専門性の維持継承と向上に努める。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	60 40 0 0	○
③経験年数に応じた資質・能力に関する指標を踏まえ、各種研修会等に積極的に参加することにより、特別支援教育に関する専門性や指導力向上を図る。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	40 60 0 0	○
(8)施設・設備の整備と教育環境の充実			
①日常の点検に加えて各月の安全点検を徹底し、安心安全な教育環境整備に努める。 (評価点 3.8)	4 3 2 1	80 20 0 0	◎
②事故や災害防止に向けた訓練を実施し、外部専門家による指導助言を受けながら危機管理マニュアルの見直しや整備をすすめ、事件・事故のない学校づくりに努める。 (評価点 3.8)	4 3 2 1	80 20 0 0	◎
(9)働き方改革の推進			
①業務改善アクションプランの方針に沿って学校が取り組むべき課題を明らかにし、業務の効率化を徹底する。 (評価点 3.4)	4 3 2 1	40 60 0 0	○
②プラス1推進運動や安全衛生委員会の取組を中心にした働き方改革を推進し、風通しの良い職場づくりに努める。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	60 40 0 0	○
(10)コンプライアンスの徹底			
①服務規律強化月間の取組を中心に、服務規律の保持・徹底に努める。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎
②安全衛生委員会を中心に職場環境の整備と教職員の心身の健康増進に努める。 (評価点 3.6)	4 3 2 1	60 40 0 0	○
③適切な事務処理に努め、校務全般の透明性の確保を徹底する。 (評価点 4.0)	4 3 2 1	100 0 0 0	◎

事務室職員

